

第八回 是川縄文の里 俳句大会 小学生の部 入賞作品一覧

第一位	日やけして同じ色だよいのるんと	白銀南小	二年	小坂	海優
第二位	☆ 縄文の時代彩る木の実かな	白銀南小	六年	松倉	岳
第三位	はつがつお縄文人も食べていた	青潮小	六年	川村	菜桜
第四位	☆ どぐうたちうごきだしそうつきのよる	是川小	一年	瀧澤	春翔
第五位	☆ 猛暑日もくらしがねむる土の中	青潮小	六年	三津谷	然
第六位	ないてるよ土ぐうのひぎですず虫が	白銀南小	二年	原田	空
第七位	流れ星どぐうもぼくも手を合わせ	白銀南小	六年	坂上	陽真
第八位	初雪が土偶のかたにそつとのる	青潮小	六年	村田	愛莉
	くりくるみ今も食べてる木の実たち	青潮小	六年	野添	皓玄
	流れ星土偶ポーズでねがいごと	青潮小	四年	佐々木	紗衣
	もみじがりじょうもんなべでせんべい汁	白銀南小	二年	種市	夏椰
	今昔どんぐり拾い変わらない	吹上小	六年	木村	芽依
第十三位	人集い土器を使って木の実鍋	青潮小	六年	齋藤	悠衣
	採取して土器で煮たてるきのこ鍋	青潮小	六年	鬼柳	結吏
	縄文と現在をつなぐよ夏の海	青潮小	六年	磯沼	煌夕
	秋の日に火の中の土器焼き上がる	青潮小	六年	高橋	杏花
	十五夜を遮光器土偶も見てたかな	青潮小	四年	今	紗香
	あきのかぜちちもむかしはどきさがし	是川小	一年	土澤	琳
	とったかなじょうもんじんもあかとんぼ	是川小	一年	馬場	俊成
	ゆうやけがしゅいろのうでわににているね	是川小	二年	もりや	やまと
	セミなく日がんばり作ったじょうもん土器	是川小	四年	栗田	鍊
	あせながし土器のもようがむずかしい	是川小	四年	佐々木	杏
	ほしがきを縄文時代食べたかな	是川小	六年	松村	優良
	三千年前ゆみが木のかわ目のまえに	吹上小	六年	田村	啓吾
	春の雪遺跡というもの石ひとつ	吹上小	六年	船田	悠空
	月の下合掌どぐうに願いこめ	青潮小	六年	関川	夢芽
	矢じりつきしかをほかくしいきのびる	青潮小	六年	黒丸	愛香
	栗くるみ自然のめぐみに感謝して	青潮小	六年	櫛引	唯
	いそがしくくりの実集め分け合って	青潮小	六年	宇部	日陽
	いのるんといっしょに泳ぐ歴史の海	青潮小	六年	長根	永
	布を織り寒い冬をたえしのぐ	青潮小	六年	佐々木	夢仁
	秋の色は川い跡もそまっっていく	青潮小	四年	今	紗香
	暑い日も土偶は見守るぼくたちを	青潮小	五年	小山	陽翔
	お花見はじょうもんじんもしてたかな	青潮小	五年	附田	幸智
	どきづくり見上げる空にはいわし雲	是川小	二年	ささき	はやて
	いのるんとひたすらがまん秋あつし	是川小	二年	佐藤	友芽
	火おこしでじょうもんじんのくろうしる	是川小	二年	こやしき	きょうすけ
	土器作りセミはミンミンおうえんだ	是川小	四年	松下	珠久
	ギラギラとあせかがやいて土器作り	是川小	四年	阿部	修士
	是川の風の森林セミの声	是川小	四年	沼田	啓太
第二十六位					

第八回 是川縄文の里 俳句大会 小学生の部 入賞作品一覧

一心こめ照らされながら土器作り	是川小	四年	田端 紀乃
せみの鳴く昼間に土器を見つけたよ	是川小	五年	伊東 珊音
どきのことしらべてみたよあきの日	白銀南小	二年	佐々木 りょうせい
おやこどぐう同じポーズでしゃしんとり	白銀南小	二年	畠山 詩菜
がっしょうどぐう月月の光でかがやくよ	白銀南小	二年	小泉 幹太
とんぼまうわらってねむるこれかわどき	白銀南小	二年	竹田 小夏
ほうさくをがっしょう土ぐうといのるあき	白銀南小	二年	長谷川 桜李
夏すずしいたてあなじゆうきよ入りたい	白銀南小	二年	磯嶋 薫
ゆきどけにかおだすどぐうとみるみらい	白銀南小	二年	家口 綾人
あきの空じょうもんじんも見てたかな	白銀南小	二年	泉山 莉夢
たえしのぐ猛暑の中の土偶たち	吹上小	六年	土橋 巧実
暑くても狩りや採集明日のため	吹上小	六年	熊木 飛翔
みんなと鳴く中なやむ土器作り	吹上小	六年	上條 友泉
土器作りあせ流しながらしんげんに	吹上小	六年	荒谷 美絆愛
秋色にそまった土器は縄文土器	吹上小	六年	高原 優希
涼風の昔もさおで魚つり	吹上小	六年	竹根 まなと

☆…天位（色紙を贈呈）

小学生の部 応募数 372 句